

不整地運搬車

定期自主検査記録表(月次)

様式SR-GR-11-C

3年間保存

メーカー名	管理 No.	使用者住所氏名又は名称
型式	製造番号	
性能 (最大積載量)	kg	稼働時間 h
検査実施場所		機械管理者氏名
検査年月日	年 月 日	検査業者登録番号
	検査者氏名	検査業者又は事業者住所氏名又は名称

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果		補修内容	区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果		補修内容	
					良	不良							良	不良		
エンジン	1	本体	かかり具合、異音、回転状態、排気状態 エアクリナー(エレメント汚れ、油量・汚れ)	目視 聴診				操縦装置	17	操作レバー	ストローク、がた	目視 操作				
	2	潤滑装置	油量・汚れ、油漏れ	目視					制動装置	18						
	3	燃料装置	燃料漏れ	目視				19		走行ブレーキ	ペダル遊び・すき間、効き具合	目視 操作				
	4	冷却装置	水量、ファンベルトたわみ・損傷	目視 スケール				20		駐車ブレーキ	レバ引きしろ、効き具合					
	エンジン	5	点火装置 [ガソリン]	ブレーカー等の焼損・突起、点火プラグ汚れ・焼損・破損 点火時期	目視 タイミングライト				荷役装置	22	荷台	作動、ゲート開閉、ロック、き裂、変形	目視 操作			
		6	電気装置	バッテリー液量	目視					23						
		7	コンプレッサー	作動、タンク凝水	目視 操作				油圧装置	24	作動油タンク	油量、油漏れ	目視			
		8								25	フィルター	エレメント汚れ	目視			
動力伝達装置	9	主クラッチ	異音、作動、ペダル遊び・すき間、油量	目視 聴診				26		配管(ホース、パイプ)	損傷、油漏れ	目視				
	10	駆動用ベルト	たわみ、損傷、汚れ	目視 スケール				27		各油圧機器 (ポンプ、モーター、弁等)	油漏れ	目視				
	11	トランスミッション 操向クラッチ ファイナルドライブ 車軸ケース H S T	作動、異音、油量、油漏れ	目視 聴診				28	油圧シリンダー	油漏れ、ロッド傷	目視					
走行装置	クローラ	12	駆動輪、遊動輪 上下ローラー	損傷、油漏れ	目視			車体・安全装置等	30	燈火、警音器、 方向指示器、 計器類	作動、損傷、聴診	目視 操作				
		13	履帯	き裂、ボルト緩み、たわみ、 ゴム履帯張り・ スチールコード損傷	目視 スケール				31	レバーロック	効き、変形、損傷		目視 操作			
		14	トラックフレーム	き裂、変形	目視					32	荷台降下 防止装置	取付、変形、損傷		目視		
	ホイール	15	ホイール (タイヤ)	空気圧、き裂、損傷、摩耗、 溝深さ、異物 ホイールナット、ボルト緩み	目視 ゲージ スケール					33	給油脂	給油脂状態、 自動給油脂装置作動	目視 操作			
		16							34							
									35	総合テスト (走行・荷役)	作動、異音、異常振動、 異常発熱	操 作 聴 触				
							36									

事業者等への要請	
----------	--

補修等の措置内容		
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日

備考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。	記号	交換	分解交換	修理	調整	締付	清掃	給油	該当なし
			×	⊗	△	A	T	C	L	—